

第 1 章

生涯学習の基本的な考え方

生涯学習とは何か？生涯学習の必要性とは何か？
について述べています。



市民大学講座

第1節 生涯学習のとらえ方

生涯学習とは、市民一人ひとりが心の豊かさや生きがいを求めて自らの意思に基づき自発的に学習するものです。以下に示すようにいろいろな考え方の基で進められています。

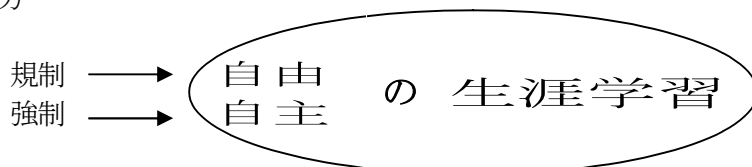
1 生涯学習社会の実現

学歴より生涯にわたる学習歴が重視される生涯学習社会を築いていこうとする考え方



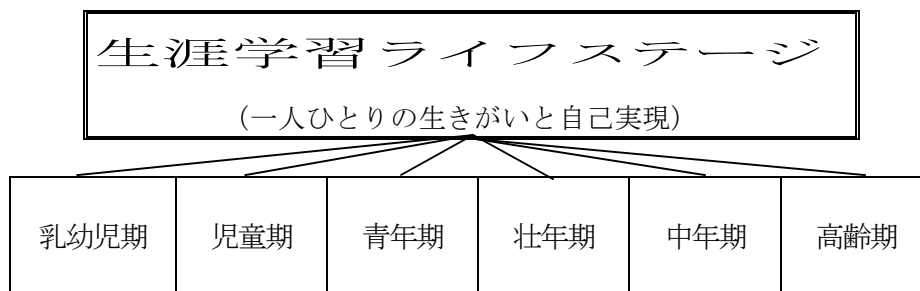
2 自主的、自発的意思による学習

全ての人が各自の意思と選択で「いつでも・どこでも・だれでも学べる」ことが尊重される考え方



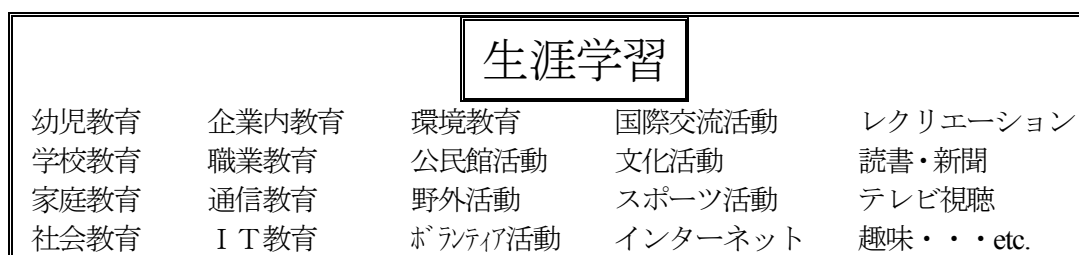
3 生涯にわたって行われる学習

一人ひとりが人生に生きがいを見出し、豊かさを実感するために、生涯を通して学習し、充実した人生を送ろうとする考え方



4 生涯学習は、あらゆる学習活動を包含したもの

私たちを取り巻く様々な学習環境や学習機会と場で生涯学習が行われているという考え方



第2節 生涯学習の意義

生涯学習は、市民一人ひとりが生涯にわたって、自分自身の生活の向上を目指して自発的な意思で学習することです。さらに、急激に変化する社会の流れに対応し、豊かな生涯学習社会を築いていくためでもあります。人と人との学び合いや触れ合いを深めて、それぞれの個性や能力を伸ばしながら一人ひとりの人生を充実させるとともに、地域の文化を高め、活力のあるまちづくりと地域社会の形成や発展をもたらすという意識をも確保されます。

○ 科学技術の高度化への対応

目覚ましい科学技術の高度化は、人々の生活環境を大きく変化させています。快適な暮らしが保証されるようになった反面、環境問題や資源、エネルギー問題等が浮かび上がってきました。便利な暮らしを喜ぶだけでなく、その背景についても考慮に入れながら、絶えず新たな知識、技術への対応を考えていくことが必要となってきました。

○ 情報化への対応

マスメディアの発達やコンピュータの普及、ファクシミリ、パソコン通信、衛星通信などの新しい情報通信ネットワークの発達など、現代社会における情報化は著しく進展しています。このような多様なメディアや情報に主体的に対応し、活用する能力が必要となってきました。

○ 国際化への対応

国際化の急速な進展により、我が国が国際社会の一員として積極的な役割を果たすとともに、国際社会に貢献していくことが求められています。そのためにも、異文化を理解・尊重するとともに、我が国の文化に正しい認識を持つことが必要になってきています。また、国際情勢は常に変化しており、これに適切に対応することも必要となってきました。

○ 高齢化への対応

我が国の高齢化は急速に進んでおり、平均寿命も上昇の一途をたどっています。この問題は、年齢を問わず、全ての人にかかわる事柄であり、生涯にわたってこの問題への理解と心構えを持つことが必要となってきました。

○ 価値観の変化と多様化への対応

生活水準の上昇、自由時間の増大、教育水準の向上などを背景として、物の豊かさから心の豊かさが求められるようになってきました。それとともに、価値観が多様化し、生涯を通じて生きがいや自己実現など、人間性豊かな生活を求める意識が高まってきました。わたしたちは、自らの要求に合うような学習が必要となってきました。

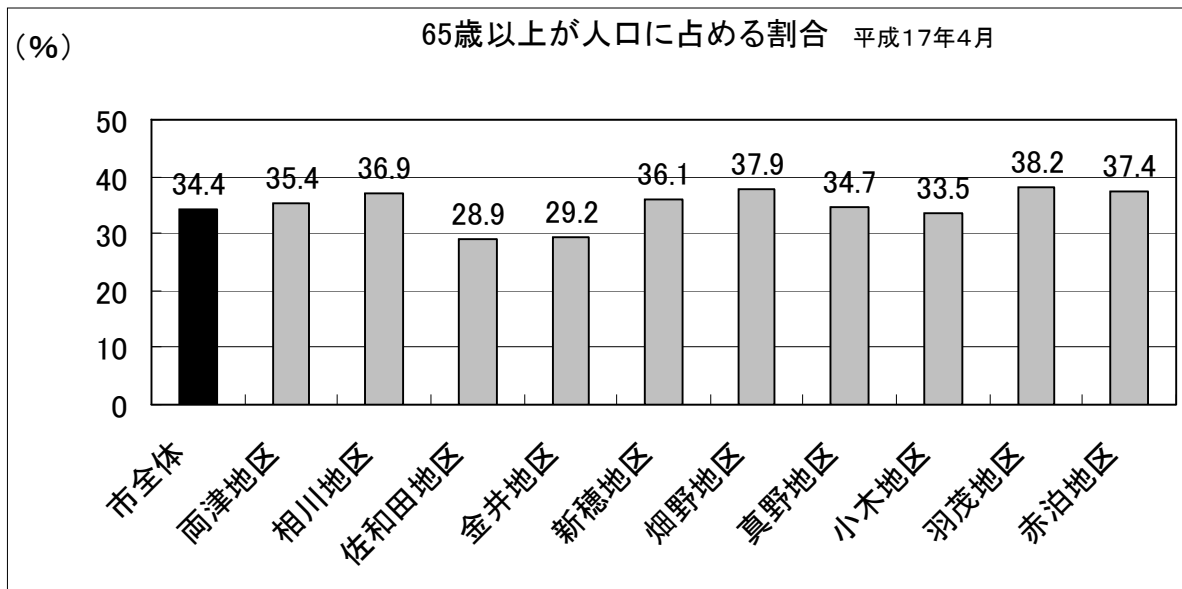
○ 男女共同参画型社会の形成への対応

女性の社会進出は、年々進んできています。男女の固定的な役割分担意識を改め、社会のあらゆる分野に女性が参画できるよう、条件を整えることが必要となってきました。

○ 家庭・地域の変化への対応

都市化、工業化、核家族化、少子化等に伴う家庭や地域社会の変化の中で、人間形成の基礎を培い、生活を支えている家庭や地域社会の基盤の弱体化が危惧されており、その機能を回復し充実させていくことが必要となってきました。

生涯学習審議会答申（平成4年7月29日）



高齢化が進む佐渡市の実態



敬老会

